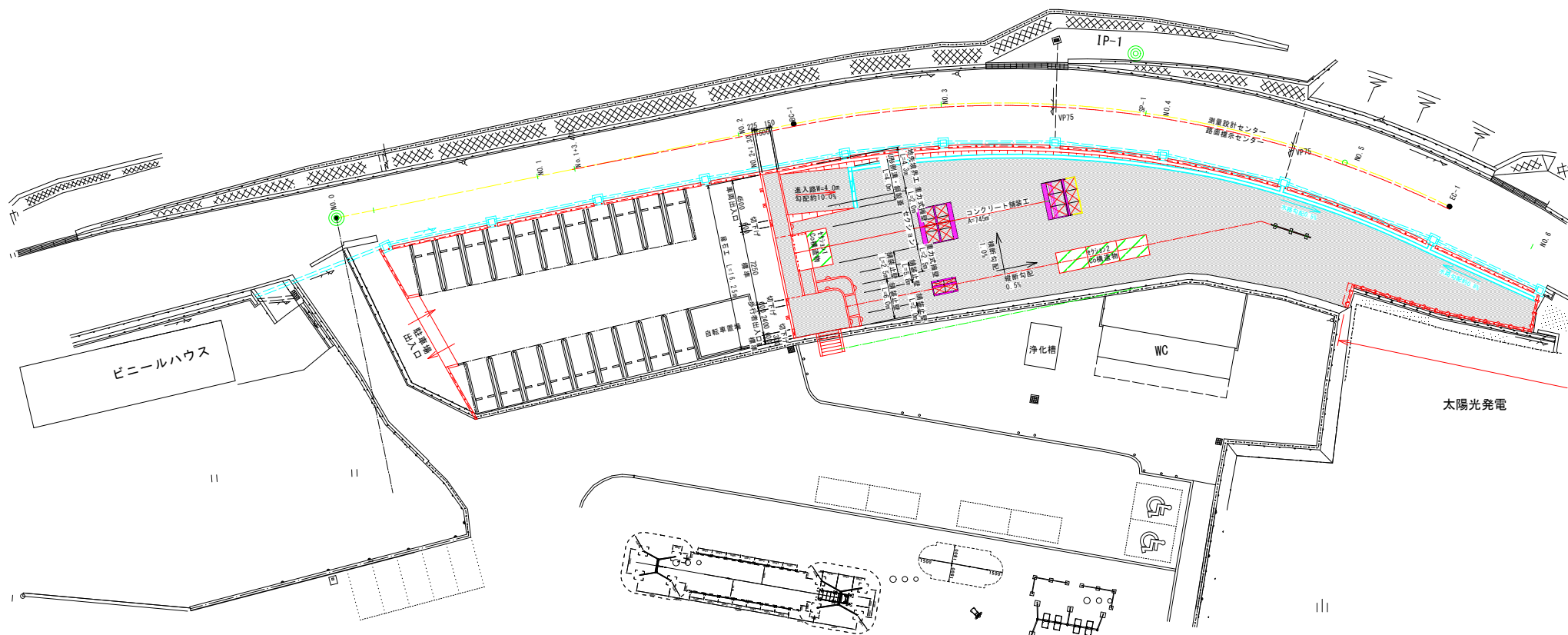


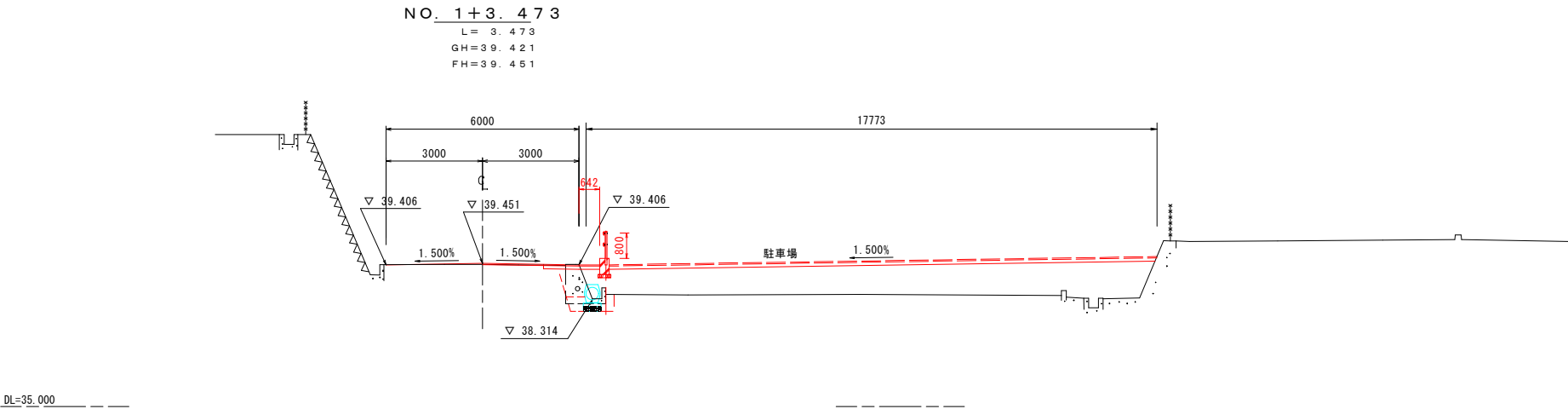
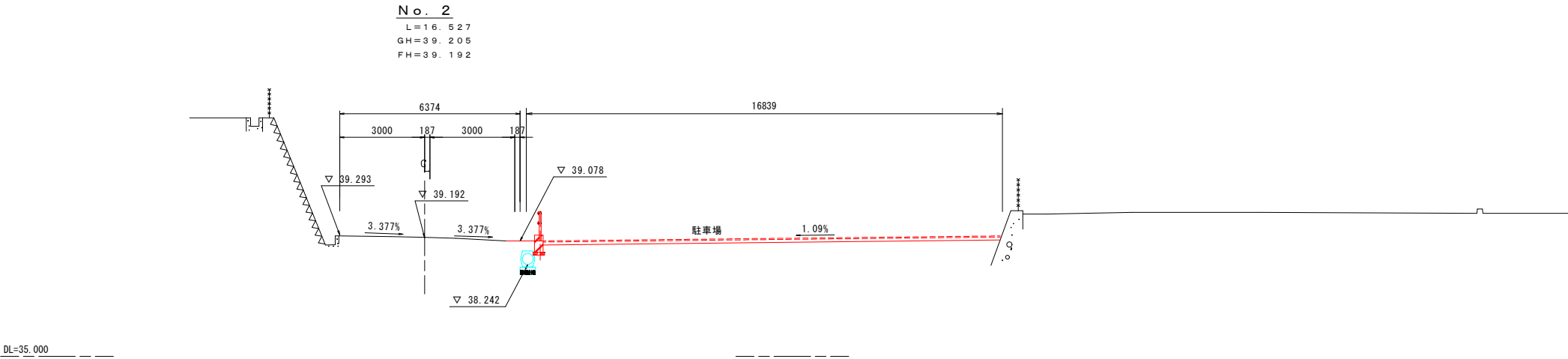
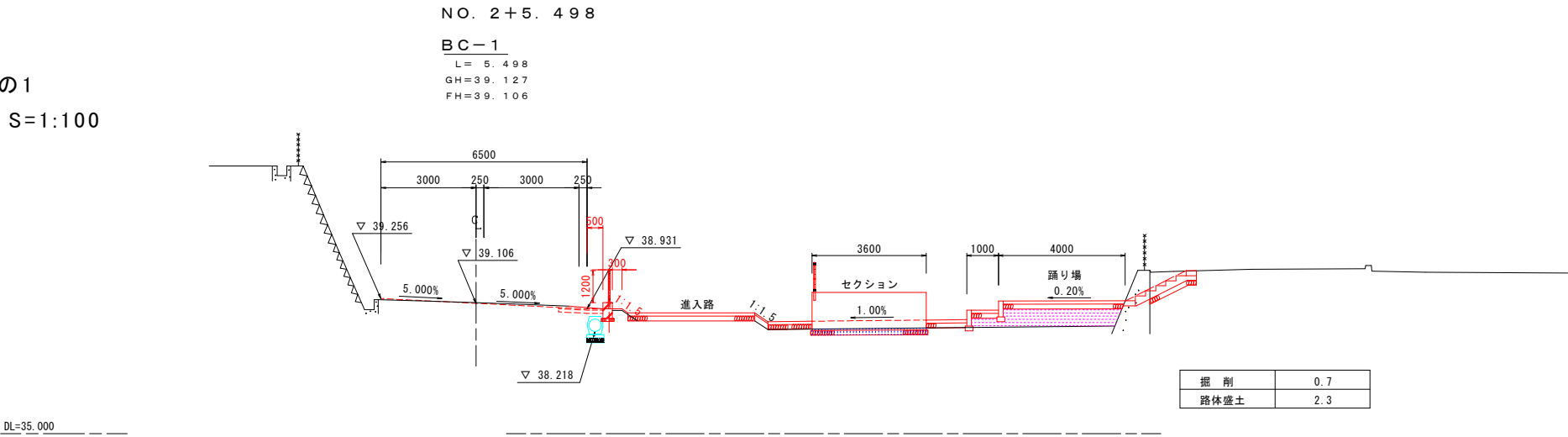
詳細計画平面図

S=1:200



工事名	宮川内谷川河川敷公園整備工事		
図面名	詳細計画平面図		
施工箇所	阿波市土成町高尾		
縮尺	1/200	図面番号	1 / 7
会社名			
事業者名	阿波市建設部 施設対策課		

横断面図 其の1
S=1:100

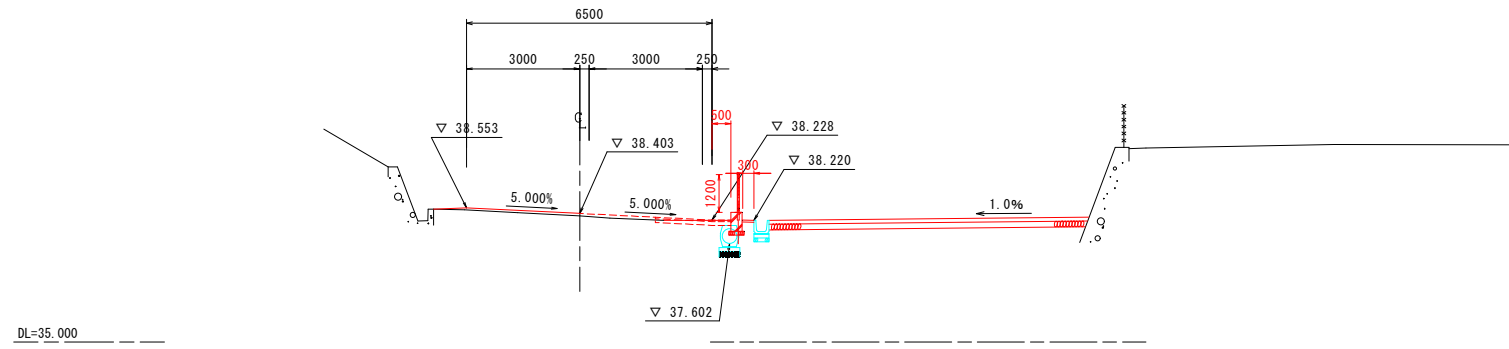


工事名	宮川内谷川河川敷公園整備工事		
図面名	横断面図 1/3		
施工箇所	阿波市土成町高尾		
縮尺	1:100	図面番号	2 / 7
会社名			
事業者名	阿波市建設部 周辺対策課		

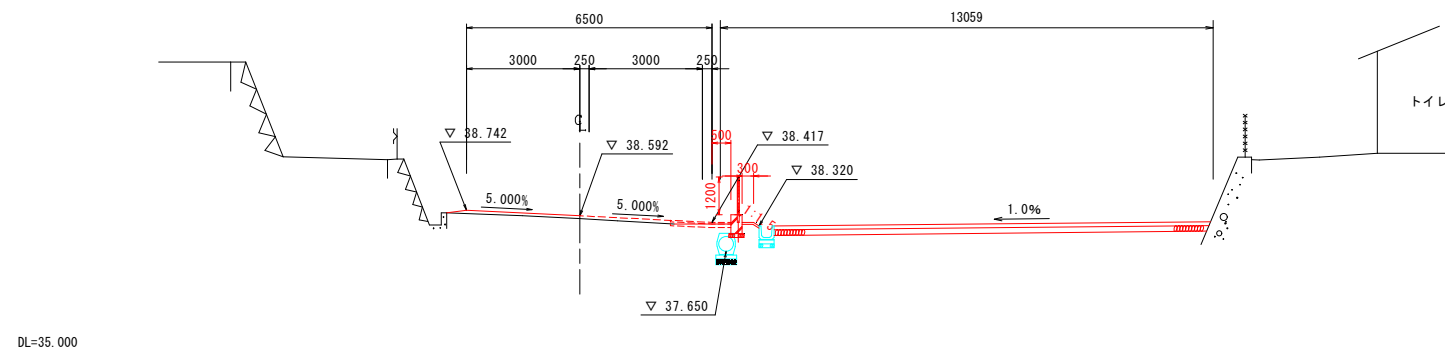
横断面図 其の2

S=1:100

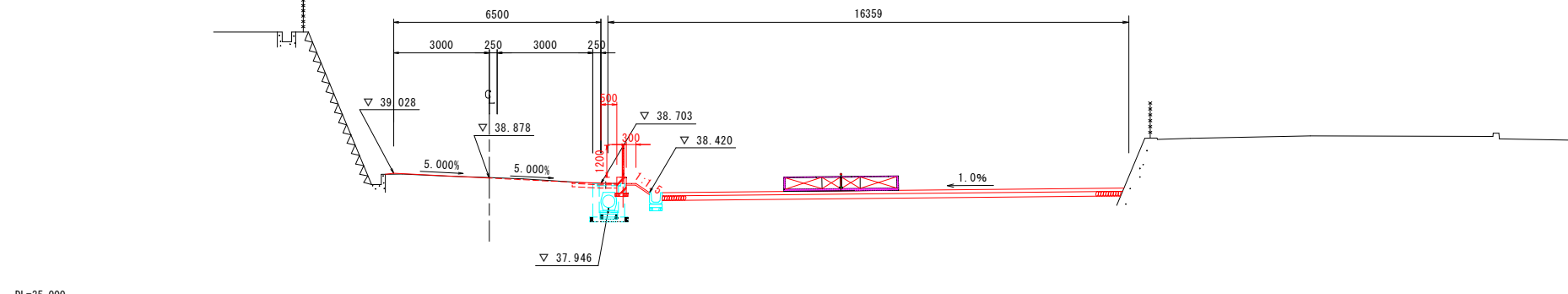
No. 5
L=20.000
GH=38.337
FH=38.403



No. 4
L=20.000
GH=38.520
FH=38.592



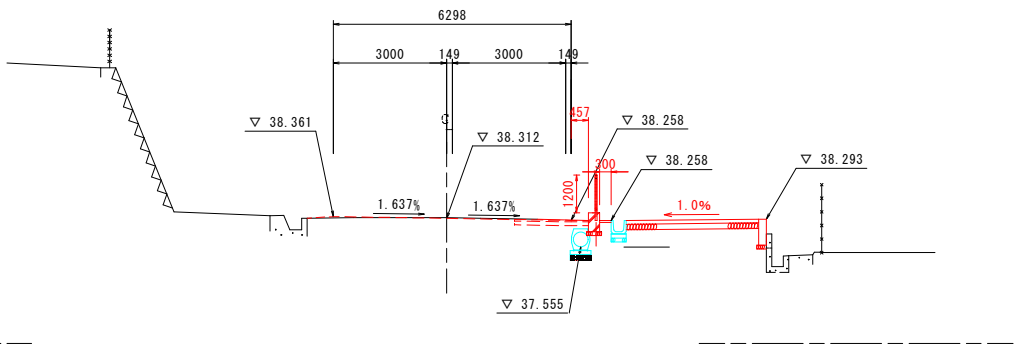
No. 3
L=14.502
GH=38.893
FH=38.878



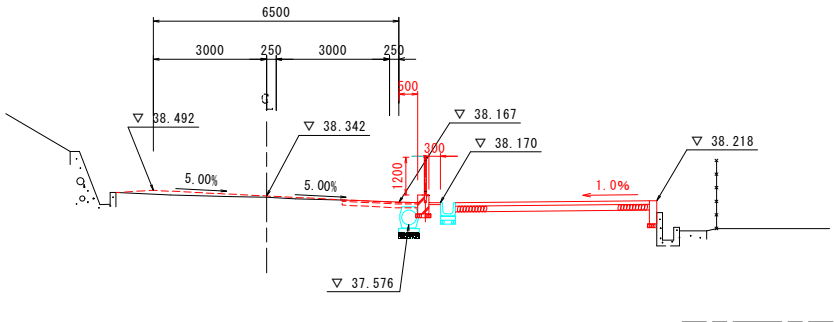
工事名	宮川内谷川河川敷公園整備工事		
図面名	横断面図 2/3		
施工箇所	阿波市土成町高尾		
縮尺	1:100	図面番号	3 / 7
会社名			
事業者名	阿波市建設部 周辺対策課		

横断面図 其の3
S=1:100

No. 6
L= 8. 924
GH=38. 331
FH=38. 312



NO. 5+11. 076
EC-1
L=11. 076
GH=38. 308
FH=38. 342

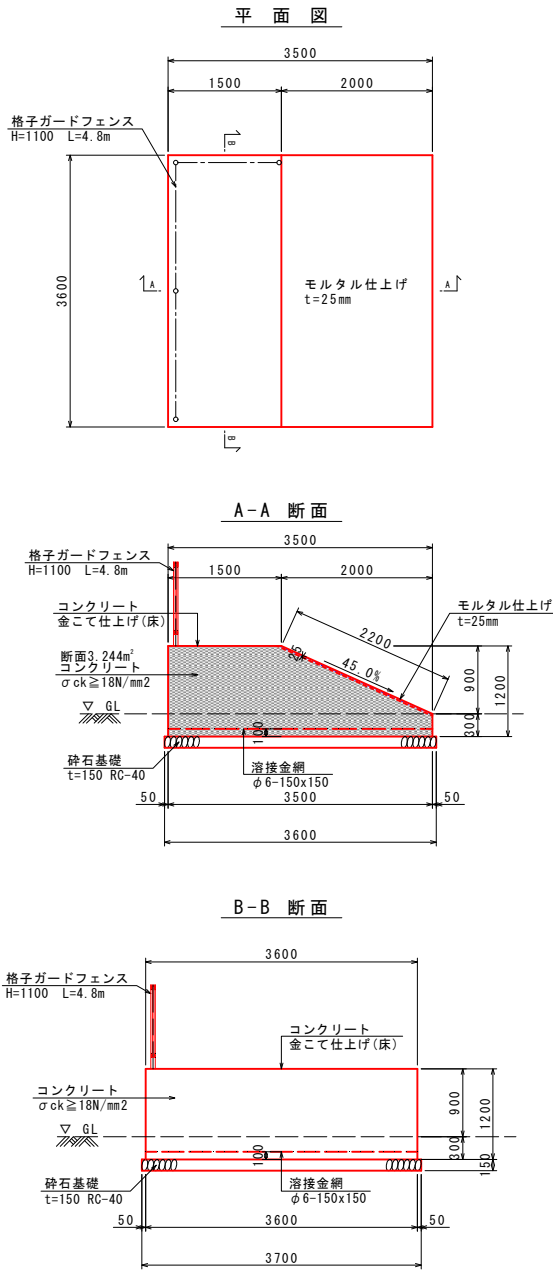


工事名	宮川内谷川河川敷公園整備工事		
図面名	横断面図 3/3		
施工箇所	阿波市土成町高尾		
縮尺	S=1 : 100	図面番号	4 / 7
会社名			
事業者名	阿波市建設部 周辺対策課		

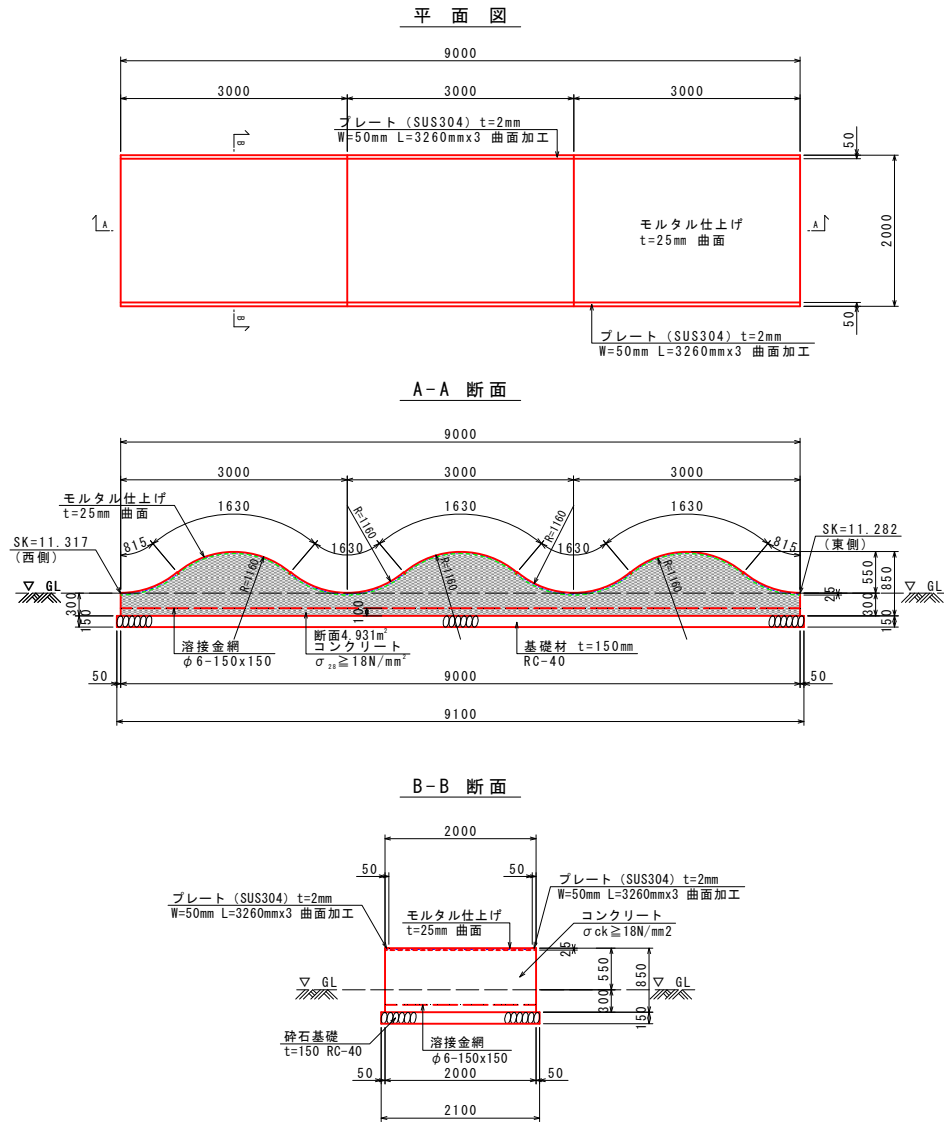
セクション構造図

S=1:50

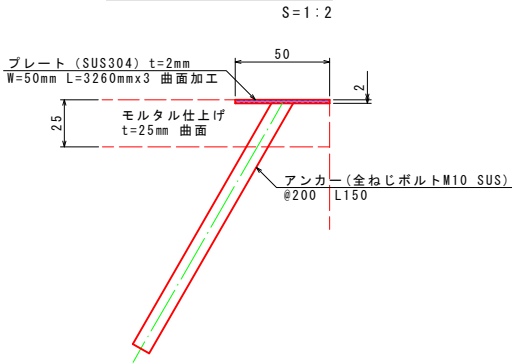
セクション 1



セクション 2



コーピング1詳細図



※モルタル仕上げの仕様

- ・モルタル練の配合は、配合比1:2を標準とする。
- ・コンクリート面下地処理後、モルタル接着増強材（吸水調整材）塗布する。塗布量は、製品仕様による。
- ・モルタルには、モルタル接着増強材を混和する。混和量は、セメント質量の5%を標準とする。
- ・表面仕上げは、モルタル金こて仕上げとする。
- ・仕様は、公共建築工事標準仕様書H.22（建築工事編）第15章左官工事に準拠するものとする。
- ・なお、スケートボードの競技施設（セクション）の表面仕上げであり、なめらかさ等の仕上がりを確認するため、試験施工により監督員・スケートボード協会の承認を得ること。
- ・また、コーナー面取り半径R10mmについても上記と同様であり、施工性を含め協議し承認を得ること。
- ・目地材は、遅青繊維質目地材を設置し、表面1cmを注入目地材（ポリサルファイド系）とする

モルタル1m²当たり標準数量

配合比	セメント (kg)	砂 (m ³)	モルタル接着増強材 (kg)	備 考
1:2	720	0.95	80 ^{※1}	720kg×5%（混入割合）÷45%（全面形成分量） ^{※1} =80kg以上
1:1	1100	0.75	123 ^{※1}	1100kg×5%（混入割合）÷45%（全面形成分量） ^{※1} =123kg以上

※セメント1袋（25kg）当たりセメント25kg×5%（混入割合）÷45%（全面形成分量）^{※1}=2.8kg以上
※1全面形成分量45%は、参考としてNSnイフレックスHF1000の数値であり、使用製品数値を確認のこと。

※セクションのコンクリート水平面（モルタル仕上げ無しの部分）の表面仕上げ

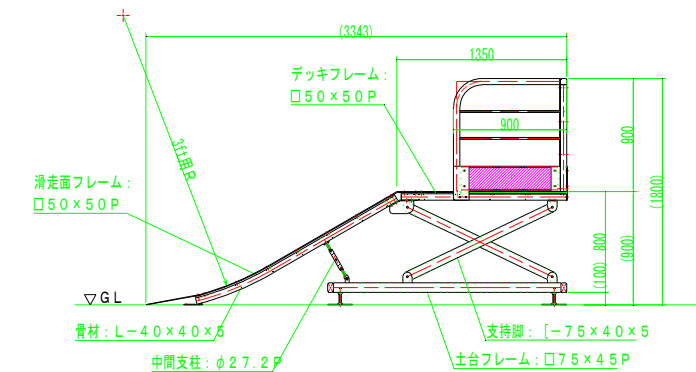
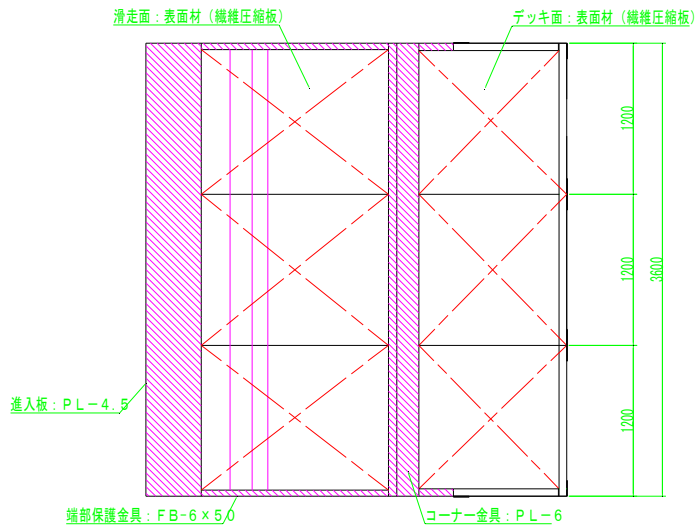
- ・コンクリート金こて仕上げとしモルタル金こて仕上げと同様、セクションの表面仕上げであるため入念に施工し、試験施工により監督員・スケートボード協会の承認を得ること。

※コーピング1は、セクション4の両側に取り付ける。
継ぎ手は、3.0m毎の最下部を標準とする。
継ぎ手両端部のアンカー溶接位置は、プレートのめくれ防止のため、できる限り端部に寄せること。
なお、セクションの面端4か所は、コンクリートのかぶり確保のため内側向きに溶接のこと。

工事名	宮川内谷川河川敷公園整備工事		
図面名	セクション構造図		
施工箇所	阿波市土成町高尾		
縮尺	1:50	図面番号	5 / 7
会社名			
事業者名	阿波市建設部 周辺対策課		

製品セクション詳細図

バンク
S=1:30

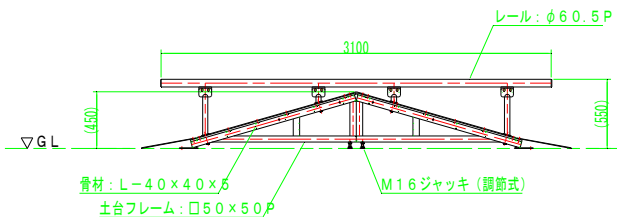
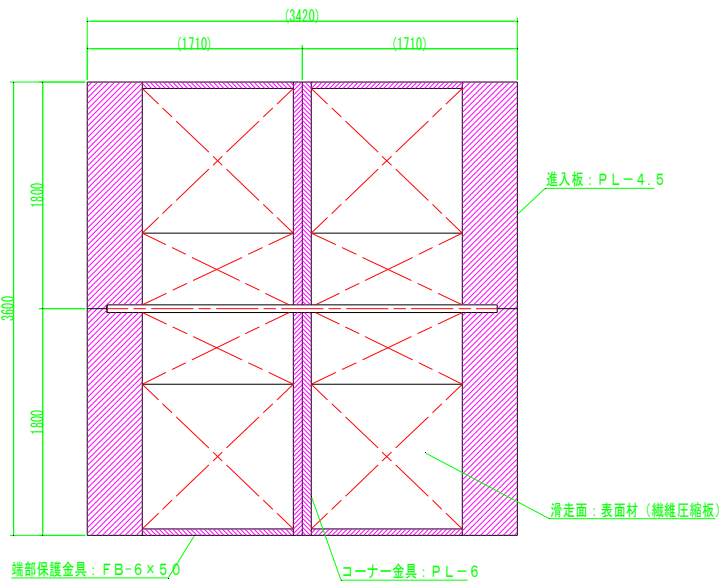


スケートパーク・セクション 特記仕様

1. 表面材はフェノール樹脂に浸した繊維圧縮板（6mm）とする。
2. 受け材（土台、フレーム、エッジ補強金具等）は電気亜鉛メッキ後、ウレタン塗装仕上げとする。コーピング、レール類は電気亜鉛メッキ後、ウレタン塗装仕上げとする。
3. ボルト類はステンレス製とし、面材、下地、フレーム材の固定方法はボルト、ナット止めとする。
4. 本製品はメンテナンス上、国内製造製品とする。
5. 本製品は、（一社）日本公園施設業協会に加入するSP・SPL表示認定企業の製造品とする。
6. 本製品は【生産物賠償責任保険】等、公園施設団体賠償責任保険に加入のメーカーの製品とする。
（※1事故あたりの保障：対人5億円・対物2,000万円）
7. 本製品の保証期間は2年間とする。（地震、火災、水害等の災害による場合は除く）

※製品向上の為、仕様等を一部変更することがあります。
※本図面内の寸法は、現場の不陸対応などで変わることがあります。

バンクtoバンク
S=1:30

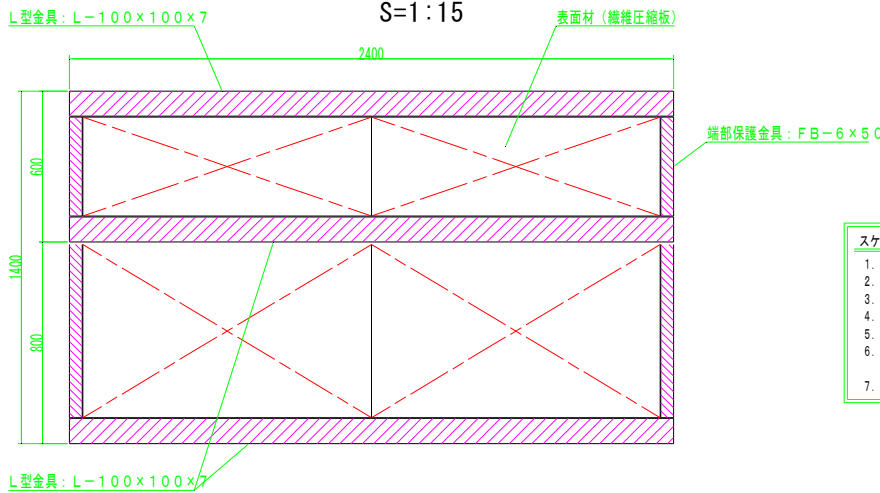


スケートパーク・セクション 特記仕様

1. 表面材はフェノール樹脂に浸した繊維圧縮板（6mm）とする。
2. 受け材（土台、フレーム、エッジ補強金具等）は電気亜鉛メッキ後、ウレタン塗装仕上げとする。コーピング、レール類は電気亜鉛メッキ後、ウレタン塗装仕上げとする。
3. ボルト類はステンレス製とし、面材、下地、フレーム材の固定方法はボルト、ナット止めとする。
4. 本製品はメンテナンス上、国内製造製品とする。
5. 本製品は、（一社）日本公園施設業協会に加入するSP・SPL表示認定企業の製造品とする。
6. 本製品は【生産物賠償責任保険】等、公園施設団体賠償責任保険に加入のメーカーの製品とする。
（※1事故あたりの保障：対人5億円・対物2,000万円）
7. 本製品の保証期間は2年間とする。（地震、火災、水害等の災害による場合は除く）

※製品向上の為、仕様等を一部変更することがあります。
※本図面内の寸法は、現場の不陸対応などで変わることがあります。

マニュアルパッド
S=1:15

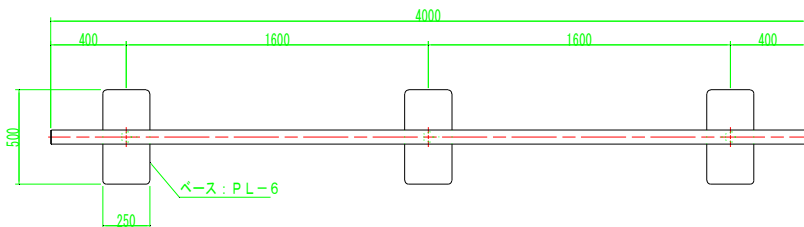


スケートパーク・セクション 特記仕様

1. 表面材はフェノール樹脂に浸した繊維圧縮板（6mm）とする。
2. 受け材（土台、フレーム、エッジ補強金具等）は電気亜鉛メッキ後、ウレタン塗装仕上げとする。
3. ボルト類はステンレス製とし、面材、下地、フレーム材の固定方法はボルト、ナット止めとする。
4. 本製品はメンテナンス上、国内製造製品とする。
5. 本製品は、（一社）日本公園施設業協会に加入するSP・SPL表示認定企業の製造品とする。
6. 本製品は【生産物賠償責任保険】等、公園施設団体賠償責任保険に加入のメーカーの製品とする。
（※1事故あたりの保障：対人5億円・対物2,000万円）
7. 本製品の保証期間は2年間とする。（地震、火災、水害等の災害による場合は除く）

※製品向上の為、仕様等を一部変更することがあります。
※本図面内の寸法は、現場の不陸対応などで変わることがあります。

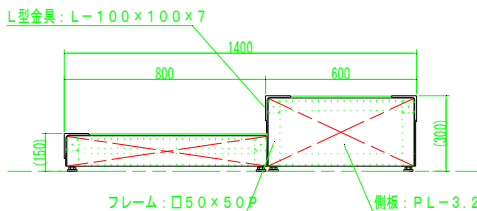
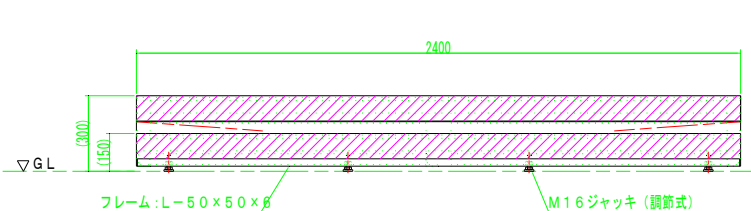
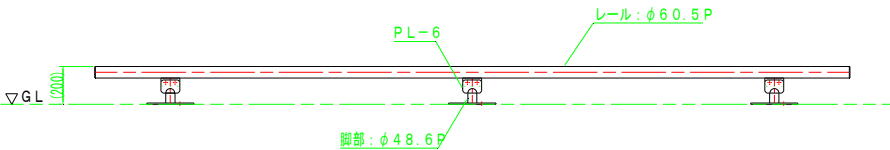
フラットレール
S=1:20



スケートパーク・セクション 特記仕様

1. 表面材はフェノール樹脂に浸した繊維圧縮板（6mm）とする。
2. 受け材（土台、フレーム、エッジ補強金具等）は電気亜鉛メッキ後、ウレタン塗装仕上げとする。
3. ボルト類はステンレス製とし、面材、下地、フレーム材の固定方法はボルト、ナット止めとする。
4. 本製品はメンテナンス上、国内製造製品とする。
5. 本製品は、（一社）日本公園施設業協会に加入するSP・SPL表示認定企業の製造品とする。
6. 本製品は【生産物賠償責任保険】等、公園施設団体賠償責任保険に加入のメーカーの製品とする。
（※1事故あたりの保障：対人5億円・対物2,000万円）
7. 本製品の保証期間は2年間とする。（地震、火災、水害等の災害による場合は除く）

※製品向上の為、仕様等を一部変更することがあります。
※本図面内の寸法は、現場の不陸対応などで変わることがあります。



工事名	宮川内谷川河川敷公園整備工事		
図面名	製品セクション詳細図		
施工箇所	阿波市土成町高尾		
縮尺	1:50	図面番号	6 / 6
会社名			
事業者名	阿波市建設部 周辺対策課		

